

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	現在、胃ろう、リクライニング車椅子で全介助である。	本人、孫娘の結婚式に出たい。ウエディングドレスすがたの孫娘が見たい。おめでとう！と言いたい。	口腔ケアをしっかり行い、誤嚥性肺炎を予防する。エアーマットを使用し褥瘡予防。マッサージを行い体を整えて座位がとれるようにする。自分で口からもたべれるようになる。笑顔で沢山話ができるようになる。	2ヶ月
2	23	認知症になられた方の思いや希望を言葉で表現できないとき、職員がどのようにして気付いてあげられるのか、職員の自己満足になっていないか考えて行く必要がある。	人の気持ちが理解出来る優しい気持ちが保てる人材育成。気付いてあげれる介護。	利用者一人一人ゆっくり話をする時間をつくり希望を聴き、願望を叶えて差し上げる。	2ヶ月
3	33	看取り介護をするにあたって、癌の転移により苦しんでおられる利用者さんの痛みの緩和。観て居るのが辛くなる家族、職員の心のケア。	少しでも痛みが軽減し笑顔で過ごせる時間をつくる。	気分が良い日は、リクライニング車椅子にて、リビングルームで過ごす。家族に面会に沢山きてもらう。家族の希望があればホームに泊まって頂く。後悔しないように望みを叶えてあげる。職員の声掛け、介助。写真を写し思い出づくり。	2ヶ月
4	48	お手伝いをして下さる利用者さんが、個々のお部屋のタオル交換をしてもらっていると、今まで皆さんから感謝され、本人も満足されて仲良く過ごされていたのですが、物とられ妄想のスイッチが入ってしまった方によりトラブル発生。	出来る事は皆で順番に行う。常にお互い様の気持ちをもって生活する。	職員の見守りの中で、一緒におこなう。「ありがとうございます」を常に声に出してつたえる。感謝の気持ちが伝わるように言葉、目線、雰囲気づくりを考える。	2ヶ月
5	7	虐待防止についての勉強会、委員会等おこなっているが、職員の各自の考え言葉かけを、チェックしその都度考えていく必要がある。	若い世代に対するの教育。人の気持ちを考える。思いやりの心をもつ。	その場で伝えないと理解できないため、直ぐに忠告するが、徐々に素直にわかってきている。	2ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。